



画像は Wikipedia より

J・S・バッハの死後

「バッハって、どうして“音楽の父”なの？」
シリーズ

ゲスト 林 豊彦 さん

新潟大学 自然系教授

大学院自然科学研究科／工学部人間支援感性科学プログラム、新潟市障がい者 IT サポートセンター長

J. S. バッハは 1750 年 7 月 28 日にライプツィヒで他界したが、死後も忘れられたことは一度もなかった。理由は多くの弟子が師を尊敬し、鍵盤作品を教育に使ったためだ。19 世紀に入ると教会音楽も演奏されるようになり、没後 100 年の 1850 年、メンデルスゾーン、シューマン、リスト、ワーグナーなどの錚々たるメンバーによってバッハ協会が設立された。

会場：ジュンク堂書店新潟店 地下 1 階 Café Space

参加費：600 円（ワインをご希望の方）

または 500 円（ホットコーヒー、アイスコーヒー、ホットティー、アイ스티ーの何れかをご希望の方）

お申し込み：ジュンク堂書店新潟店レジカウンター（新潟市中央区笹口 1-1 プラーカ 1）

電話 025-374-4411（予約時に飲み物を指定ください）

サイエンスカフェ Web サイト（<http://www.ecosci.jp/n-cafe/>）から Eメールで

2018 年 12 月 22 日（土）15 時 30 分～17 時 00 分